

平成 30 年度行政提案型市民協働事業実施報告書
(元気なパラリンピック応援団 in こまえとの市民協働事業)

1. 事業概要

東京 2020 大会の開催に向けて、市内の気運を醸成するとともに、車いす利用者も含めて誰もが簡単に着ることができるバリアフリー着物に関する普及啓発と人材育成を目的として、次の事業を実施した。

- (1) 東京 2020 大会に向けた着物の着付け教室
- (2) 東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室
- (3) 着付けサポーター養成講座
- (4) 元気なパラリンピック応援団 in こまえフェスティバル

2. 主催

狛江市（企画財政部政策室）
元気なパラリンピック応援団 in こまえ

3. 事業形態

狛江市と元気なパラリンピック応援団 in こまえとの市民協働事業
(平成 30 年度行政提案型市民協働事業)

4. 事業実施経過

実施日	事業名
5月12日(土)	東京 2020 大会に向けた着物の着付け教室
6月6日(水)	東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室
6月27日(水)	〃
6月30日(土)	〃
7月11日(水)	〃
7月14日(土)	〃
9月1日(土)	着付けサポーター養成講座
10月6日(土)	〃
10月20日(土)	東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室
11月17日(土)	〃
11月25日(日)	着付けサポーター養成講座
12月8日(土)	元気なパラリンピック応援団 in こまえフェスティバル
1月13日(日)	着付けサポーター養成講座
2月16日(土)	〃
3月10日(日)	〃
3月13日(水)	〃

5. 各事業詳細

(1) 東京 2020 大会に向けた着物の着付け教室

【実施内容】

バリアフリー着物の着付けを体験する教室を開催した。参加者は好みの着物と帯を選び、講師のサポートで着付けをした後、着物姿で記念撮影を行った。着付け体験後は、元気なパラリンピック応援団 in こまへの鈴木代表がバリアフリー着物を発案した経緯や今後の事業展開を紹介した。

【実施日】

平成 30 年 5 月 12 日 (土)

【会場】

市役所特別会議室

【参加者数】

32 名

【事業成果】

車いす利用者、子ども、男性等、着物を着る機会がなかった方に対して、日本の伝統文化である着物を楽しむ機会を提供することができた。また、障がいの有無に関わらず気軽に楽しむことができるバリアフリー着物の魅力を伝えるとともに、東京 2020 大会に関する興味関心を高めることができた。

【写真】



(2) 東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室

【実施内容】

帯を切らずに結んだ帯を糸で留める「造り帯」を製作する教室を実施した。参加者は、使わなくなった帯を持参し、講師の指導の下、「造り帯」を製作するとともに、製作した「造り帯」の着付けの方法を学んだ。参加者には、着付けサポーター養成講座等、今後の事業の紹介を行った。

【実施日】

平成 30 年 6 月 6 日 (水), 6 月 27 日 (水), 6 月 30 日 (土), 7 月 11 日 (水),
7 月 14 日 (土), 10 月 20 日 (土), 11 月 17 日 (土)

【会場】

市役所特別会議室, 防災センター会議室

【参加者数】

延べ 77 名

【事業成果】

着物や帯を持っているが着る機会が少なくなってしまう方に対して、再び気軽に着物を楽しんでもらえる機会を提供し、バリアフリー着物の普及啓発を図ることができた。また、東京 2020 大会の PR を図るとともに、今後の事業展開に必要な人材の掘り起こしを行うことができた。

【写真】



(3) 着付けサポーター養成講座

【実施内容】

バリアフリー着物の着付けやイベントの運営等を支援する人材を育成することを目的とした講座を実施した。参加者は、車いす利用者や男性等、様々な対象者を想定しながら、バリアフリー着物の着付けの方法や技術を学ぶとともに、東京五輪音頭-2020-の踊りを練習した。

【日程】

平成30年9月1日(土)、10月6日(土)、11月25日(日)、
平成31年1月13日(日)、2月16日(土)、3月10日(日)、3月13日(水)

【会場】

市役所特別会議室、防災センター会議室

【参加者数】

延べ132名

【事業成果】

バリアフリー着物や着付けに関する知識と技術を普及させるとともに、今後の事業に協力してくれる人材の発掘と育成を図ることができた。また、東京2020大会に向けた気運とボランティアマインドを醸成することができた。

【写真】



(4) 元気なパラリンピック応援団 in こまえフェスティバル

【実施内容】

バリアフリー着物の魅力を発信するとともに、障がいを持つゲストによるパフォーマンスや東京五輪音頭-2020-を踊るイベントを実施した。短い時間で簡単に着ることができるバリアフリー着物の特徴を理解してもらうため、舞台上で参加者への着付けを実演した。ゲストは、バリアフリー着物を着て登壇し、車いすで生活するうえでのバリアや障がいの有無に関わらず前向きにチャレンジすることの大切さを語ってもらった。イベントの最後には、ゲストやスタッフを含めた来場者全員で東京五輪音頭-2020-を踊った。

【日程】

平成 30 年 12 月 8 日 (土)

【会場】

中央公民館ホール

【ゲスト】

車いすガールズユニット BEYOND GIRLS

【プログラム】

- ・ 鈴木代表講演
- ・ バリアフリー着物の着付け実演
- ・ BEYOND GIRLS パフォーマンス (講演・歌)
- ・ 民謡と太鼓, 東京五輪音頭-2020-

【参加者数】

81 名

【事業成果】

会場には車いす利用者や外国人の方にもご来場いただき、バリアフリー着物の魅力を広く発信することができた。ゲストによるパフォーマンスや東京五輪音頭-2020-を通じて、障がい者に対する理解を深め、意識を啓発するとともに、東京 2020 大会に向けた気運の醸成を図ることができた。

